

令和7年度よこすか環境教室（環境教育指導者等派遣事業）テーマ一覧

1. 水環境

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
1	海と私たちの生活の関係	海が私たちの生活が、いろいろなところで強く関係していることを学ぶ。	海を含めた地球環境への親近感を高める。	市川　洋	小学生	45分	講義・ワークショップ	30名程度	・プロジェクタ ・スクリーン (模造紙、サインペン、付箋紙)	・実施場所：教室 ・事前打ち合わせは2回程度を希望
2	地球温暖化と海	地球温暖化によって海面上昇などの現象が海で起こる仕組みを学ぶ。	なぜ、地球温暖化を防ぐ必要があるのか、その理由を理解し、積極的な環境活動に取り組むようになることを目指す。	市川　洋	高校生、一般	45分	講義	100名程度	・プロジェクタ ・スクリーン	・実施場所：教室 ・事前打ち合わせは2回程度を希望
3	海っていいな ～海について考えてみよう！～	①座学で現状の海について ②できれば海でなければ想像して詩を作る (基本は記載、空欄を埋める)	横須賀市に住んでいる人の身近な海。海をじっと見ながら人が抱く感じ方の違いを知る。	林　　但	小学生(3～6年生)、中学生、高校生	45分	講義・実習体験・野外活動	30名程度	・プリント ・バインダー ・筆記用具	・希望する時期は3月～6月及び10月～11月頃 ・事前打合せ希望
4	海洋観測物語	海洋の環境の変化はどのような調査観測で見つけ出されたのかを学ぶ。	観測・調査が、海洋環境問題の解決に必要な不可欠であることについての理解を深める。	市川　洋	中学生	45分	講義	30名程度	・プロジェクタ ・スクリーン	・実施場所：教室 ・事前打ち合わせは2回程度を希望

2. 身近な自然

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
5	地球温暖化対策教室：地球温暖化について考えよう ～植物の息づかいを観察し、森林のはたらきを考えよう～	座学と実験を組み合わせます。 座学：環境省の教材に準拠し地球温暖化について学習します。 実験：森林を模擬する「森林シミュレータ（森林模擬ボックス）」で昼間と夜間の二酸化炭素の変化を観察し、森林（実際は小さな観葉植物）が二酸化炭素を吸収して、地球温暖化の抑制に役立っていることを学習します。そして自らの行動変容につなげていただきます。	次世代をにう児童が地球温暖化問題を学習して、自らの生活行動変容、植物の大切さの認識につなげていただきます。子から親への啓発も期待しています。	(株)アイエスイーエム	小学生	40分(休憩10分)×3回	講義、実習体験	12名程度 ※複数回実施可能	・プロジェクター (2台または切り替えで1台) ・照明機器2台	・会場はラボ（理科実験室）のような会場が望ましいです。
6	日本の森林について考えよう ～森林を元気にするサイクル「植える、育てる、使う」を学ぼう～	①世界と日本森林の現状 ②森林の守り方（間伐） ③木の利用法と加工の工夫 ④身近にある木製品を見つける	日本の森の現状を知り、持続可能な地球環境のためにできることを考え、実践するきっかけの場とする。	(株)オカムラ	小学生	1 時限	講義	通常1クラス人数／回 (複数クラス可能)	・プロジェクター	・ご相談により、内容のアレンジ、対象学年拡大での対応可能 ・間伐について、模型で説明します
7	木の恩恵を再確認／水資源、生命の希少性	・木の恩恵を再確認 木に3回、乾杯しよう ・水資源、生命の希少性 もし地球が〇〇だったら（⇒どのぐらい地球がめれているか他） ・三つの視点から木の効果を分析して理解する。 ・水資源をスケールを変えることで理解してゆく	・社会的、生態的、経済的に木の効果を分析する ・地球に飲料水はどのぐらいあるか、生命のエリアはどれぐらいあるか	榎本　裕	小学生	45分	講義、ワークショップ	20～40名	・模造紙 ・付箋 ・マーカー ・A4用紙	
8	アクティブなゲームによる生態系と温暖化の理解	ゲーム化した動きで仕組みを理解する。 光の子どもたち：温暖化の仕組みを理解する ・絶滅危惧種をモデルにしたシミュレーションゲームで理解を深める。 〇〇の気持ち：生物と環境の関係を理解する ・猟師が来たぞ：人と自然の関係を理解する	生態系や温暖化についてゲームを通じて学ぶ。	榎本　裕	園児	40分	講義、実習体験	20名	・走れるスペース	

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
9	鷹取山で自然観察	鷹取山の観察路を歩いて自然観察をする。 ①五感を使って自然体験。クサギ、ヤブニツケイ、カラスザンショウなど匂いのある葉っぱや嘔むと苦いニガキを感じてもらう。 ②ビンゴ票を使って野草、昆虫などを発見する。	鷹取山を歩き、地元の自然を学び、興味・関心を持ってもらう。	鷹取山自然観察会会員	小学生、一般	90分	野外活動	20名（１クラス）	・自然観察の自然観察ガイド	・屋外での活動のため7，8，9月については、熱中症対策として実施は避けています。 ・服装は、防虫目的のため長袖、長ズボンをお願いします。
10	みんなのトンボ池 ～人もトンボも生きる街は？～	トンボのすみ池の環境について、グループなどの討議を通して、自分とは違う観点で環境についてみているほかの人の意見を聞く。	人間の土地利用が生き物の生息地に与える影響が検討できる。	林 但	小学生（高学年）、中学生、高校生、一般	90分～120分（時間調整可）	実習体験、ワークシヨップ	30名程度	・課題シート ・建物ほかのシート ・トンボ池 ・マジック ・ノリ ・模造紙 ・クレヨンまたは色鉛筆他	・事前打合希望
11	落ち葉のグラデーション	座学と野外学習などの併用やり方はいろいろあり、 ①落ち葉を5枚拾い順に並べる、 ②形や大きさの違うはっぱを集める ③葉っぱでじゃんけん ④葉っぱでアート など	「落ち葉」といってもいろいろな色や形があること認識する	林 但	小学生、中学生、高校生、一般	45～80分（時間調整可）	実習体験、ワークシヨップ	30名程度	・タコ糸 ・テープ ・白い紙 ・黒い紙	・希望する時期は3月～6月及び10月～11月くらい ・事前打合希望
12	猿島って知っている？ ～日本遺産の猿島を見てみよう！～	座学 エコミュージアム猿島について自然から歴史的なことまで調べてみよう！（まぼろしの蝶、砂浜、フランス積み/イギリス積み、時代ごとの大砲など）	・歴史的文化遺産を知る ・植物や生物の営みを知る	林 但	小学生、中学生、高校生、一般	45分（時間調整可）	講義、野外活動	30名程度	・筆記用具 ・ワークシート 他	・事前打合希望
13	ホタルを守るってどういうこと？ ～ホタルが棲んでいる環境を考える～	座学 パワーポイント使用。津久井の自然を守る会の活動紹介から生き物の生態系について説明し、湿地や田んぼの重要性を知る ＊希望があれば津久井の自然を守る会活動現場の案内も可（津久井）	生態系のピラミッドから底辺にある田んぼや湿地の生き物に関心を持ってもらう。人間以外は棲んでいる環境を変えることができないということを知る。	津久井の自然を守る会	小学生、中学生、高校生、一般	35分	講義	なし	・パソコン ・スクリーンなどスライドを投影できるもの ・教室はどこでも可	※打合せ日時は調整させていただきます。

3. 廃棄物

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
14	ペットボトルのリサイクルについての学習 ～ボードゲーム”リサイコロ”で遊びながら資源循環について学ぼう～	①座学 スライドを使った説明や、リサイクルをストーリーで学ぶ動画を鑑賞。 ②ボードゲーム おうちから捨てられたペットボトルの行方をすごろくを使って遊びながら学習する。	①おうちから「資源ごみ」として出しているペットボトルが何に生まれ変わっているのかをゲームを通じて学習する。 ②資源循環を実現するために、いま自分が出来ることを体験を通じて学ぶ。	株式会社 JEPLAN	小学生	45分（調整可）	ワークシヨップ	35名程度	【座学】 ・スクリーンなどスライドを投影できるもの ・教室はどこでも可 【リサイコロ】 ・一人につき使用済みのペットボトルを1本	・対応できる回数に限度がございます。 ・ご希望の際は余裕を持って日程をご相談いただけるようお願い致します。
15	教室の中の3つのRを考えよう～ 毎日使っている机とイスの3Rを知り、モノを大切にすることを育てよう～	①机とイスの原材料は何？ ②世界の資源について知る ③机とイスの作られ方を知る ④ものを大切に丁寧に掃除をしてみよう！ ⑤長く大切に使うために	机、椅子に使われている資源を知り、持続可能な地球環境のためにできることを考え、実践するきっかけの場とする。	株式会社オカムラ	小学生	1時限	講義	通常1クラス人数／回 (複数クラス可能)	・プロジェクター ・各自、水拭き用の不要になった布	・ご相談により、内容のアレンジ、対象学年 拡大での対応可能 ・4Rも対応可能

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
16	海のプラスチックごみのこと ～プラスチックの使用を減らすヒントを考えよう～	横須賀、他の県、外国の海岸の海ゴミの現状を紹介。 保育園・幼稚園では、釣りゲームを実施。海に見立てたブルーシートの上でペットボトル、プラスチックごみなどを釣り上げ、その後、分別作業を学習する。 小学校の場合、折り紙でフタつき整理箱を作成、プラスチックの使用削減につながることを学ぶ。	・低年齢からプラスチックごみや環境全般への興味関心を高める ・まず、現状を知り解決策のヒントをつかんで欲しい	吉田 誠裕	園児、小学生	40～90分	講義、実習体験	園児：約15名×2回 小学生：30～60名	・プロジェクター ・スクリーン ・ブルーシート ・折り紙用色画用紙	
17	楽しく学ぶごみ分別 ～ごみは正しく分別すれば資源になるよ！～	・実践参加型の分別紙芝居を見て参加していただきます。 ・楽しい仕掛けがあります。 ・子どもも大人も分別を楽しく体験していただけます。	・ごみ分別を楽しく学ぶ。 ・分別を身近な生活で活かす。 ごみの簡単な歴史、現状、分別の必要性、 分別することでどんな効果があるのか？ ・海辺のごみはどこから出てくるかを知る ・ごみで困っていること、私たちにできることはないか ・漂流物ほかでクラフトの楽しさを知る	渡辺 智子	園児、小学生、中学生、高校生、一般	40分～（内容による）	講義	10～40名（対象年齢によるため要相談）	・紙芝居用のテーブル(机) ・分別するものを広げるスペース(畳一畳分くらい)	・ご希望内容に合わせてご相談。 ・打ち合わせは一回はできるとよいです。
18	海のごみ	①座学で現状の海について ②できれば海でゴミ拾い、自然観察など ③クラフト　など要相談	①座学で現状の海について ②できれば海でゴミ拾い、自然観察など ③クラフト　など要相談	林 但	小学生（3～6年生）、中学生、高校生、一般	45～90分（時間調整可）	講義、実習体験、野外活動	30名程度	・筆記用具 ・プリンター ・バインダー	・希望する時期は3月～6月及び10月～11月くらい ・事前打合希望
19	物を大切にするとどういふこと？ ～身近なごみや不法投棄ごみについて考える～	①座学 パワーポイント使用。武山山中の不法投棄現場と撤去、以降の活動を説明。 不法投棄問題について考える。 ②身近にあるごみ問題み目を向ける 通学路や街中のポイ捨てごみの収集の実施。 ＊希望があれば武山ハイキングコース（一部）の案内可	①身近なごみ問題に関心を持ってもらう ②ごみを減らすためにできることを考える	津久井の自然を守る会	小学生、中学生、高校生、一般	①座学：30分 ②野外活動・ごみ収集：30分	講義、野外活動	なし	座学 ・パソコン ・スクリーンなどスライドを投影できるもの ・教室はどこでも可 野外活動 ・ごみ袋、軍手、トング	座学と野外活動同時が難しければ2回行います。 ※打合せ日時は調整させていただきます。

4. 総 合

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
20	セブンイレブンの環境問題への取り組み	セブン-イレブンの環境への取組 ○食品ロスへの取組 ○プラスチック対策 ○CO2削減の取組	セブン-イレブンの環境の取組 （食品ロス）（プラスチック削減）	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	小学生、中学生、	45分 （状況に応じてご相談ください）	講義	20～40名 （状況に応じてご相談ください）	・資料投影をするもの （プロジェクター・スクリーン・モニター等）	
21	自然エネルギーの活用（創・蓄・省）教室 ～太陽光発電＋蓄電池で省エネをかなえよう～	使用予定実験機 	■実験を通じ、太陽光発電の特徴（長所・短所）や、創・蓄・省を学びます。 ■私たちが生活の中で取り組めるエコ・省エネについて考えます。	パナソニック（株）EW社	小学生	45分×制限数 （クラス数）	講義、実習体験、	1クラス単位（40名まで）×クラス数	・スクリーン ・プロジェクターまたは50型以上の大型TV。（電子黒板可）	・各班（4～5名）ごとに電源が必要 なため理科室希望。 ・上記会場にての設営・撤収時間を確保 お願いいたします。
22	クロネコヤマト 環境教室	①座学 ヤマト運輸の仕事と環境対策について、スライドを用いて伝える。 ②グループワーク 自分にできる身の回りの環境対策について、グループ発表を行う。	①物流の大切さをと環境問題との関係性を知る。 ②自分たちにできる温暖化対策を考えるきっかけとなる。	ヤマト運輸株式会社	小学生（4～6年生）	45分 ※調整可能	講義、その他	特になし	・スクリーンなどスライドを投影できるもの ・筆記用具	・授業開始時間は9時以降でお願いいたします。 ・スライド投影、グループワークが出来る場所であれば、教室以外でも実施可能です。 ・事前に一度お打ち合わせをお願いいたします。
23	環境への理解と保全活動への道筋	・設計事務所の所見になって、二つの事例を考えてみる。 ・建てるべきか、建てざるべきか。 ・みんなのトンボ池の進化型→これが欲しかった？ ・NHK地球データマップを読んでSDGsを考える。	課題解決ワークショップを通じて、保全活動のプロセスとタイムラインの理解と実践をはかる	榎本 裕	中学生、一般	1～3時間	ワークショップ	20名	・模造紙 ・付箋 ・マーカー ・A4用紙	・プリント2枚

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
24	自動車と環境　これまでとこれから	1. 自動車の歴史　人々の生活と環境への影響について質問を入れながら進めます。 2. 気候変動への具体的対策について考えます。モノづくりの現場で行っているCO2削減やリサイクルの活動、働きやすい環境づくりの取り組みについて説明します。	長く日本の産業を支えている自動車。自動車の歴史と人々の生活の変化、環境への影響を説明しながら、子供たちが携わっていく未来の産業について考えてみます。	桐谷　範彦	小学生	45分	講義、ワークショップ	35名	・プロジェクター ・スクリーン	・事前打ち合わせは2回程度
25	一秒の世界	降水量、グリーンランドの水河の融解量、鉄の生産量、ミミズの土壌耕転量、日本の仮想水輸入量、生物種の消滅量などなど1秒にどのくらい変化するかを対象とします。	地球規模の環境変化、膨大な生産と消費、惑星としての地球の奇跡から一秒の間の出来事の紹介とそこから読み取れる未来について考える。	小嶋　修一	小学生	1.5時間	講義	35名	・プロジェクター ・スクリーン ・パソコン ・世界地図	・講師がUSBメモリーを持参します。
26	食生活から学ぶSDGs	座学 1. 地球環境と食生活。 2. 「エコ・クッキング」とは？ 3. 「エコ・クッキング」に学ぶ食生活における行動工夫。 4. 自分たちが今日からできることを考えてみよう！	SDGsへの関心を深め、地球環境のために私たち一人ひとりが出来る事を考えます。自分たちの身近な「食生活」をテーマに、だれもがすぐに実行できる行動や工夫のポイントについて学びます。	東京ガス (株)次世代 教育センター	小学生（4～6年生）、中学生	1時限	講義	1クラス単位（その他：要相談）	・筆記用具	・お申込みは、実施希望日の2ヶ月前までをお願いします。 ・受付状況によっては、日程変更をお願いする場合があります。
27	燃料電池ってなんだろう？～地球温暖化を防ぐためにわたしたちができること～	座学 1. 火力発電の仕組みと課題。 2. 再生可能エネルギーの利点・欠点。（発電実験） 3. 燃料電池の発電の仕組み。（発電実験） 4. 家庭・自動車での利用/火力発電に対する優位性。	燃料電池は水素と酸素から電気と熱をつくる、環境にやさしいエネルギーの利用方法です。実験を通じて、エネルギーの有効利用や温暖化防止のために、自分たちにできることは何かを考えます。	東京ガス (株)次世代 教育センター	小学生（5～6年生）、中学生	1時限	講義、実習体験	1クラス単位（その他：要相談）	・筆記用具	・お申込みは、実施希望日の2ヶ月前までをお願いします。 ・受付状況によっては、日程変更をお願いする場合があります。

5. 休日、春・夏・秋休みの野外体験学習

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
28	古道散歩とエコロジカル	・エネルギー、ごみの新旧モデルから問題を分析考察していく。 ・しょうぶ園～沢山池の里山～山科台～しょうぶ園を散策する。 ・山道や林を歩きながらの謎解きや、昔の暮らしの追体験を行います。	エネルギーや廃棄物から循環型の生活を考える	榎本　裕	小学生、一般	3時間	野外活動	20名	ハイキングに適した装備	